

映画が映す 様々な日本の姿



©2018「子ども食堂」製作委員会

子ども食堂

僕はいつも知らんぷりをしていた。

ユウトとタカシは河原で父親と車中生活をしている姉妹に出会った。“かわいそう”な姉妹を見かねたユウトは両親に食事を出してほしいとお願いする。豊かに見える日本社会の歪みを受け満ちた食事を取ることに出来ない子どもたちの姿を描く。

監督：日向寺太郎
出演：吉岡秀隆、常盤貴子

貧困・育児放棄

93分



©2024「晴れの国」製作実行委員会

晴れの国

この世から逃げた男と、家族から逃げた男——

東京のIT企業を退職し、一人で地元・岡山の人里離れた家に移り住んだ小松康太はリモートワークの傍ら夜は天体観測を楽しんでいた。そんな時一人で自給自足生活を送り「仙人」と呼ばれる老人が現れる…。

監督：大森青児
出演：三田村邦彦、前野朋哉、丘みどり

家族の再生

99分

侍タイムスリッパ



©2024未来映画社

それが「斬られ役」にござる。

「長州藩士を討て」との密命を受けた会津藩士・高坂新左衛門。敵が現れ両者が刃を交えた刹那、落雷が轟き、目を覚ますと、そこは現代の時代劇撮影所。新左衛門は幕府がとうに滅んだと知り愕然とする。一度は死を覚悟したものの「斬られ役」として生きていくために撮影所の門をたたくのだった…。

監督：安田淳一
出演：山口馬木也

131分

前科者



©2021「香川まさひと月島冬二」小学館/映画「前科者」製作委員会

未来に、寄り添い続ける——。

保護司の佳代が新しく担当した工藤誠は順調な更生生活を送っていたが、ある日忽然と姿を消す。一方その頃、連続殺人事件が発生する。捜査が進むにつれ誠の過去、そして佳代の過去や彼女が保護司という仕事を選んだ理由が次第に明らかになっていく。

監督：岸善幸
出演：有村架純、森田剛

保護司

PG12 133分

アイヌモシリ



©AINU MOSIRI LLC/Booster Project

ちかくてとおい、
ほくが住む町のお話

アイヌ文化に触れながら育った14歳のカント。だが父親の死をきっかけにアイヌの活動に参加しなくなる。亡き父親の友人で、伝統行事(イオマンテ)を復活させようとするアイヌコタンのリーダー的存在デボは、カントにアイヌの精神や文化について教え込もうとする。

アイヌ民族

監督：福永壮志
出演：下倉幹人、秋田デボ

84分

あまろっく



©2024 映画「あまろっく」製作委員会

人生に起こることは
何でも楽しみな!

能天気な父のようにはないとくなくとエリート街道をひた走るもリストラに遭った39歳独身の娘・優子。ある日、65歳の父が連れてきた再婚相手は20歳だった!尼崎を舞台に、年齢も性格も異なる“ツギハギだらけ”の家族を描く“ご実家ムービー”!

監督：中村和宏
出演：江口のりこ、笑福亭鶴瓶

家族のかたち

119分

マリッジカウンセラー



©2022「マリッジカウンセラー」フィルムパートナーズ

昭和オヤジが結婚したい
男女のために大奮闘!!

マッチングアプリでの恋活・婚活が話題となっている昨今。昔ながらの結婚相談所の仲人たちの奮闘を描くハートフル・コメディ。結婚したくても一歩を踏み出せない人たちと仲人、それぞれが“ご縁”をたぐり寄せようとする姿があたかな感動をもたらす。

監督：前田直樹
出演：渡辺いっけい、宮崎美子

婚活

110分

夕陽のあと



©2019 長島大陸映画実行委員会

ふたりの母、ひとりの子。

1年前に島にやって来た茜は食堂で働きながら地域の子どもたちを見守っていた。一方、五月は、赤ん坊の頃から育ててきた7歳の里子・豊和(とわ)との特別養子縁組申請を控え、本当の母親になる喜びに胸を膨らませていた。そんな中、豊和の生みの親の所在が判明し、その背後に東京のネットカフェで起きた乳児置き去り事件が浮かび上がる……。

監督：越川道夫
出演：貫地谷しほり、山田真歩、永井大

特別養子縁組

133分

映画〇月〇日、区長になる女。



©2024 映画 〇月〇日、区長になる女。製作委員会

ここには、希望がある

人口57万人、有権者数47万人という規模の区長選にも関わらず、わずか187票差で決着した2022年 杉並区長選挙。この選挙に立候補し現職を破った岸本聡子と彼女を草の根で支えた住民たちに密着したドキュメンタリー。私たちの生活は、政治と繋がっている、もう黙ってはいられない。〇月〇日、次はあなたかもしれない。

監督：ペヤンヌマキ
ドキュメンタリー 110分

PERFECT DAYS



©2023 MASTER MIND Ltd.

こんなふう生きていけたなら

東京でトイレ清掃員として働く平山は、静かに淡々とした日々を送っていた。同じ時間に目覚め、同じように支度をし、同じように働いた。その毎日は同じことの繰り返しに見えるかもしれないが、同じ日は1日としてなく男は毎日新しい日として生きていた。そんな男の日常に思いがけない出来事があきる。それが男の過去を小さく揺らした。★第76回カンヌ国際映画祭最優秀主演男優賞(役所広司)受賞

監督：ヴィム・ベンダース
出演：役所広司

124分